

第4期冬山合宿

3192m

弘法小屋尾根

後藤 隆徳

●荒川谷く間ノ岳弘法小屋尾根く
 間ノ岳く農鳥岳く北岳く吊尾根
 ▽76年12月29日〜77年1月2日
 ▽CL後藤隆徳(29) S.L杉澤康
 秀(27) 写真毛利哲也(43) 8ミ
 リ山口・清(32) 記録杉山 達
 (21)

【とりぐみ】
 1、76年6月後藤私案をまとめる。
 2、7月3日〜4日に後藤単独で
 弘法小屋尾根を登り偵察した。
 3、8月、弘法小屋尾根く白峰三
 山縦走を三島労山冬山合宿に決定。
 4、9月17日〜19日に山口、荻野、
 大橋、杉山は弘法小屋尾根を登り

北岳まで縦走した。
 5、10月8日〜11日に後藤、杉澤
 山口、荻野はポーコンの頭、間ノ
 岳、弘法小屋尾根に荷上げた。
 6、10月9日〜11日に毛利、杉山
 小川(広)は弘法小屋尾根に荷上
 げして、北岳まで縦走した。
 7、12月17日〜18日後藤、竹端
 杉山は荒川谷を偵察した。

私は30歳になるまで、結婚する
 まで南アルプスの主な山々を厳冬
 期に全部登頂するという目的を
 持って早くも3年の歳月が流れた。
 茶臼岳、上河内岳、聖岳、赤石岳、

東岳、中岳、千枚岳(荒川岳)、
 仙丈岳、三峰岳、塩見岳、甲斐駒
 ケ岳、葉師岳、観音岳、地藏岳
 (鳳凰三山)、北岳はすでに足下
 になっていたが、白峰三山の間ノ
 岳と農鳥岳は未登であった。

昨年仙塩尾根を縦走後、頭に
 あった問題は、ここをどのルート
 から登るかであったが、北岳から
 ピストンはしたくなかったし、魅
 力もなかった。

三島労山入会後、竹端と親しく
 なり、今まで知らなかった山の話
 を多く聞かせてもらった。いろい
 ろな話の中で興味を呼んだのが知
 床の旅と、間ノ岳弘法小屋尾根で
 あった。

弘法小屋尾根厳冬期登山は、私
 が探し求めていたものにドスンと
 ぶつかったような感じで、今年の
 冬はこの尾根を狙ってみようと決
 心させたものだった。
 そして久しぶりに燃えている目
 分が良く分かった。

12月29日(晴) 気温不明
 ハタイムV先発下土狩10:05く荒
 川伐採小屋15:00く後発沼津14:
 25く伐採小屋17:30(泊)

達橋に借りたチェリー12000
 で私は三島駅に杉山を迎えに行く。

天気は快晴。下土狩駅で杉澤好、
 達橋らの見送りを受けて山に向か
 う。奈良田に向かう途中、車がア
 クシデントを数えたが大事に到ら
 ず再び出発。

奈良田付近は先々週下見に来た
 とよりだいたい雪が多く、道路の
 脇に10センチ位積もっていた。心
 配していた内河内出合いのトンネ
 ルにはやはり鎖が掛かっていた。
 3人で鎖を上げてみたが、もう少
 しいところで車は入れない。杉澤
 が「まさかこんな所ないだろう
 ナー」とトンネル入口の看板を上
 げたら、何とそこに鍵があった。

そのことを後発隊に知らせよう
 と少し戻って電話を入れたが、す
 でに出発した後だった。入口の鎖
 の所に置き手紙をして行く。荒川
 までの道はきれいに除雪され特に
 問題はなかった。後で分かった事
 だが、除雪されていたのは、ある
 き沢橋まで白ナンバーのマイクロ
 バスがピストンしていたからだっ
 た。車は発電所の中に入れて、
 バッテリーを外し毛布につつんで
 おく。伐採小屋に入り、飲んだり
 食べたり後発隊を待った。小屋に
 は夜叉神峠から歩いてきた若者が
 1人。17時30分頃、私はもう来る
 頃だろうと窓から乗り出している